

セミナー会場の様子



午後部の冒頭では「ダイジエスト説明会」として、希望者へアンケート結

理事長の長喜美一氏
挨拶する高根沢



「遠隔監視・発電電力量解析・
保険保証」などがキーワードに

ITを用いた自社サイトでの実験の途中経過を報告した。夜間にバイパス回路とセルストラング回路を電

な太陽光発電パネルメーカー等25社に依頼したもので、10社から回答があった。アンケート項目は出力保証、故障・瑕疵の保証、代替パネルの入手方法などで、出力保証の内容や保証の打ち切り事由などについて、傾向が明らかになった。続く座学ではまずJOMARE理事長でアルシ美一氏が、「パネルの不具合の遠隔自動計測実験を始めました」と題して、アイテスのPV遠隔安全診断システム(SO I)を用いた自社サイトでの実験の途中経過を報告した。夜間にバイパス回路とセルストラング回路を電

「2030年太陽光大量導入時代」
見据えるO&M新技術の最新動向を共有

レポート (一社)新エネルギーO&M協議会「第6回技術セミナー」

6月3日、一般社団法人新エネルギーO&M協議会(JOMARE)主催の「第6回技術セミナー」が開催された。リアルでの実施が約2年半ぶりとなった本セミナーでは、午前中に会員限定で

パネルメーカーに対してアンケート結果の共有と意見交換が、午後には非会員も参加可能な太陽光O&Mについての座学が行われた。午後の部の冒頭では「ダイジエスト説明会」として、希望者へアンケート結

支持されるのか? 次世代型O&Mの普及推進に向けて(エナジービジョン代表取締役・奥山恭之氏)など、最先端のO&M技術が解説された。座学の最後に専務理事の大門敏男氏が、同法人の提供する太陽光発電所の情報を管理する「PVトレーサビリティシステム」へ追加される新機能「発電奉行」について発表した。12カ月移動平均とPCS間比較などにより、発電所の発電電力量の長期的傾向を自動で解析する機能で、6月の実装を予定している。